# 富士電機株式会社　温度調節器
# マイクロコントローラＸ
# PXR5TAY1-GYM00

## サンプル画面説明書

三菱電機株式会社

## サンプルのご利用について

　サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

(1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。

(2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。

(3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。
　　但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合はその限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。

(4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。

(5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。

(6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。

(7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

# 目次


目次 3

改訂履歴 4

1. 概要 5

2. システム構成 5

3. GOT について 5

3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション 5

3.2 作画ソフトウェアの接続機器設定 5

4. マイクロコントローラ X について 6

4.1 マイクロコントローラ X の通信設定 6

4.2 マイクロコントローラ X のパラメータ設定 6

5. 画面仕様 7

5.1 表示言語 7

5.2 画面遷移 7

5.3 画面説明 9

5.3.1 メニュー(B-30001) 9

5.3.2 モニタ(B-30002) 10

5.3.3 パラメータ(B-30003) 12

5.3.4 アラーム(B-30004) 13

5.3.5 マニュアル表示-言語 1(B-30500)、言語 2(B-30501)、言語 3(B-30502) 14

5.3.6 アラームリセット(W-30001) 16

5.3.7 言語設定(W-30002) 17

5.3.8 時計設定(W-30003) 18

5.4 使用デバイス一覧 19

5.5 コメント一覧 20

5.6 スクリプト一覧 20

6. マニュアル表示について 24

6.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備 24

6.2 ドキュメントの総ページ数の変更 25

6.3 「マニュアル表示」スイッチの設定 27

7. テンプレート 28

## 改訂履歴

### サンプル画面説明書

| 改訂日付 | 管理番号* | 改訂内容 |
|---|---|---|
| 2013/9 | BCN-P5999-0090 | 初版 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

＊ 管理番号は、右下に記載しています。

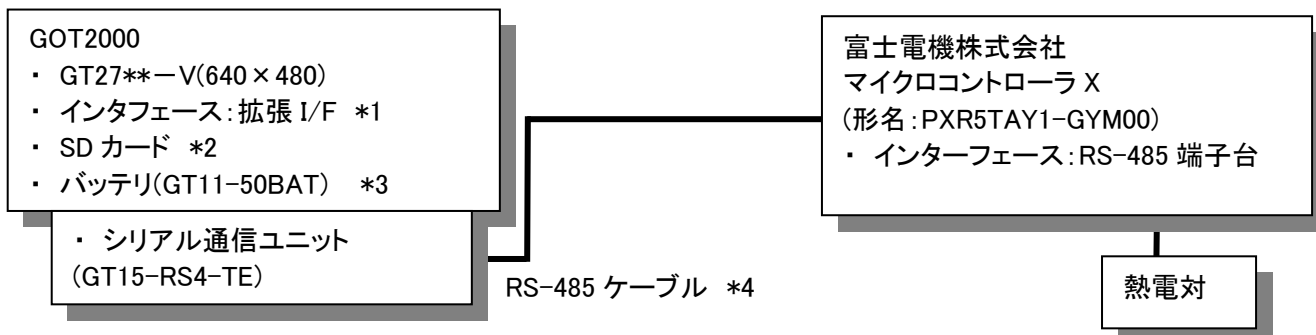
### プロジェクトデータ

| 改訂日付 | プロジェクトデータ | GT Designer3* | 改訂内容 |
|---|---|---|---|
| 2013/9 | Fuji_PXR_V_Ver1_J.GTX | 1.100E | 初版 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

＊ プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

## 1. 概要

GOT2000 と富士電機株式会社 マイクロコントローラ X(PXR5TAY1-GYM00)をシリアル(RS-485)で接続し、SV 値の変更、PV 値モニタ、MV 値モニタなどを行うサンプル画面の説明書です。

## 2. システム構成

*1:標準I/FのRS-422/RS-485を使用して接続することも可能です。
*2:SDカードは、ロギング機能・ドキュメント表示機能で使用しています。
*3:バッテリは、時計データおよびSRAMユーザ領域のロギングデータ・ユーザアラームデータの停電保持に使用しています。(バッテリはGOT本体に標準装備しています。)
*4:ケーブルの詳細については、「GOT2000シリーズ接続マニュアル(他社機器接続編2)」を参照してください。

## 3. GOT について

### 3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション

| 種類 | システムアプリケーションの名称 | | |
|---|---|---|---|
| 基本機能 | 基本システムアプリケーション | | |
| | 標準フォント | | 日本語 |
| 通信ドライバ | 富士電機 PXR/PXG/PXH | | |
| 拡張機能 | 標準フォント | | 中国語(簡体) |
| | アウトラインフォント | ゴシック | 英数かな |
| | | | 日本語漢字 |
| | | | 中国(簡体)漢字 |
| | ドキュメント表示 | | |

### 3.2 作画ソフトウェアの接続機器設定

| 項 目 | 設定値 | 備 考 |
|---|---|---|
| ボーレート(BPS) | 9600 bps | |
| データ長 | 8 bit | |
| ストップビット | 1 bit | |
| パリティ | 奇数 | |
| リトライ回数(回) | 0 | |
| 通信タイムアウト時間(秒) | 3 | |
| 自局アドレス | 1 | マイクロコントローラ X のステーション No.を設定します。 |
| 送信ディレイ時間(ms) | 5 | |
| 形式 | 1 | PXR/PXG/PXH と接続する場合です。 |

## 4. マイクロコントローラ X について

### 4.1 マイクロコントローラ X の通信設定

| 項　目 | 設定値 | 備 考 |
|---|---|---|
| 通信速度 | 9600 bps | 固定値のため変更できません。 |
| データ長 | 8 bit | 固定値のため変更できません。 |
| ストップビット | 1 bit | 固定値のため変更できません。 |
| パリティ設定 | 0 | 0:奇数パリティ<br>1:偶数パリティ<br>2:パリティなし |
| ステーション No. | 1 | |
| 通信プロトコル | 1 | MODBUS(R)接続設定です。 |

### 4.2 マイクロコントローラ X のパラメータ設定

弊社で動作確認した際の設定値は下記となります。

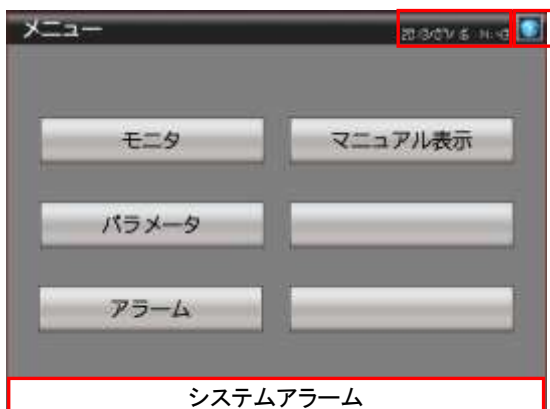
| 項　目 | 設定値 | 備 考 |
|---|---|---|
| リモート/ローカル設定 | LoCL | ローカル設定固定とします。 |
| 比例帯(P) | 5.0 | 初期値です。 |
| 積分時間(I) | 240 | 初期値です。 |
| 微分時間(d) | 60.0 | 初期値です。 |
| 制御方式 | PID | 初期値です。 |
| SV 下限リミッター設定 | 0 | 初期値です。 |
| SV 上限リミッター設定 | 100 | 初期値です。 |
| 警報 1ON ディレイ設定 | 10 | このサンプルでは 10 に設定しています。 |
| 警報 2ON ディレイ設定 | 10 | このサンプルでは 10 に設定しています。 |
| 制御出力 1 の比例周期 | 30 | 接点出力です。 |
| 入力種類の設定 | 3 | K 熱電対です。 |
| 測定レンジ下限設定 | 0 | 初期値です。 |
| 測定レンジ上限設定 | 400 | このサンプルでは 400 に設定しています。 |
| 小数点位置設定 | 0 | このサンプルでは 0 に設定しています。 |
| 警報タイプ 1 | 1 | このサンプルでは警報種類:上限絶対に設定しています。 |
| 警報タイプ 2 | 2 | このサンプルでは警報種類:下限絶対に設定しています。 |
| 警報 1 設定値 | 30 | このサンプルでは 30 に設定しています。 |
| 警報 2 設定値 | 25 | このサンプルでは 25 に設定しています。 |
| 制御方式設定 | 0 | 出力タイプ:シングル<br>制御動作　出力 1:逆作動、出力 2:なし<br>バーンアウト方向　出力 1:下限、出力 2:なし |
| 警報 1 オプション | 001 | 警報ラッチ機能:ON<br>本体入力異常警報:OFF<br>非励磁出力機能:OFF |
| 警報 2 オプション | 001 | 警報ラッチ機能:ON<br>本体入力異常警報:OFF<br>非励磁出力機能:OFF |
| 出力 1 下限リミット設定 | −3.0 | 初期値です。 |
| 出力 1 上限リミット設定 | 103.0 | 初期値です。 |

## 5. 画面仕様

### 5.1 表示言語

画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の3言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No.254、255 の列 No.1～3 に下記のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No.を格納すると列 No.に対応した言語を表示します。

| 列 No. | 言語 |
|---|---|
| 1 | 日本語 |
| 2 | 英語 |
| 3 | 中国語(簡体) |

### 5.2 画面遷移

#### 5.2.1 画面遷移(共通)

ウィンドウ画面 W-30003：時計設定

ウィンドウ画面 W-30002：言語設定

ベース画面 B-30001：メニュー他全ベース画面

ウィンドウ画面 W-30001：アラームリセット

### 5.2.2 画面遷移(個別)

ベース画面 B-30002:モニタ

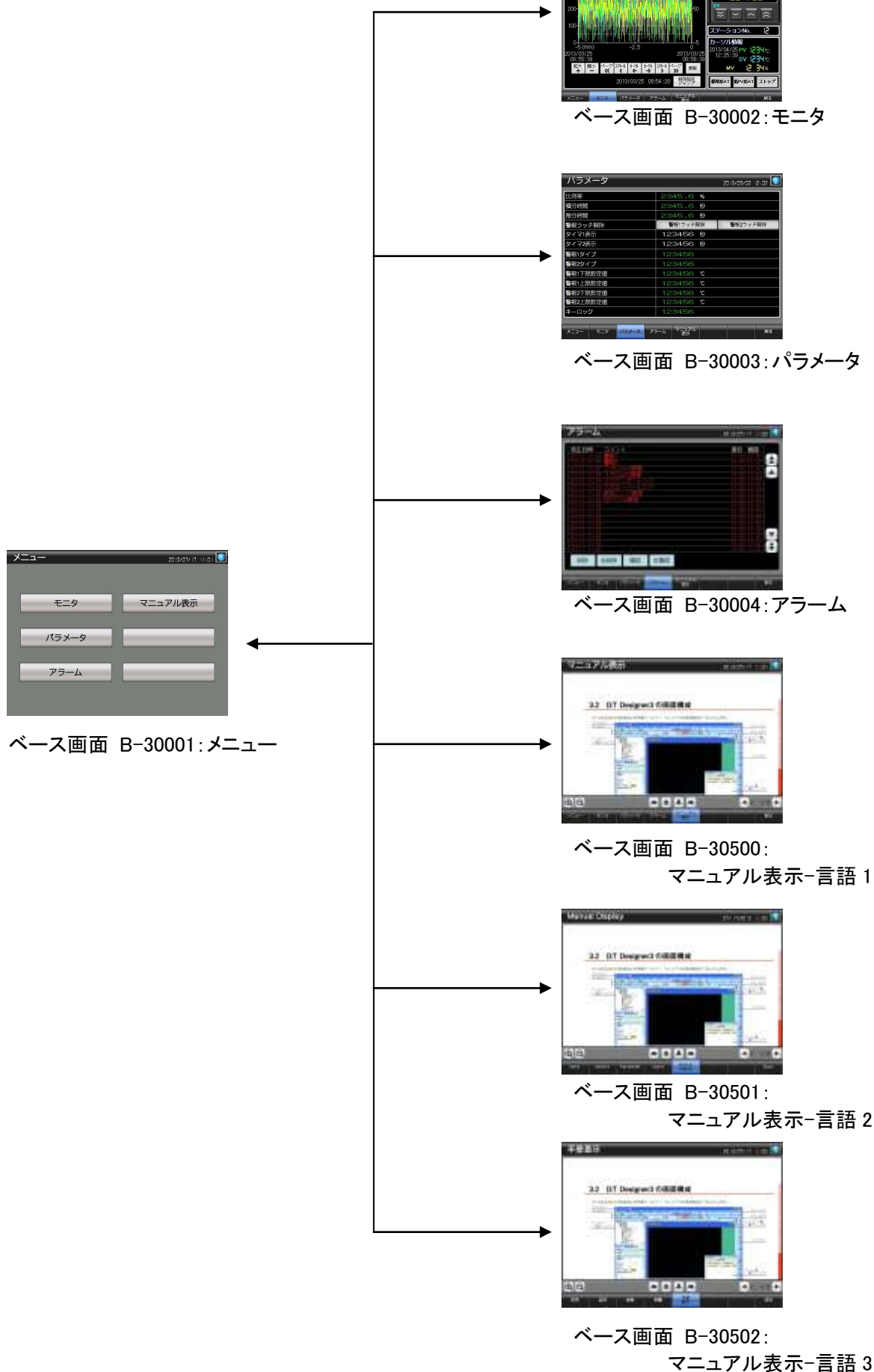
ベース画面 B-30003:パラメータ

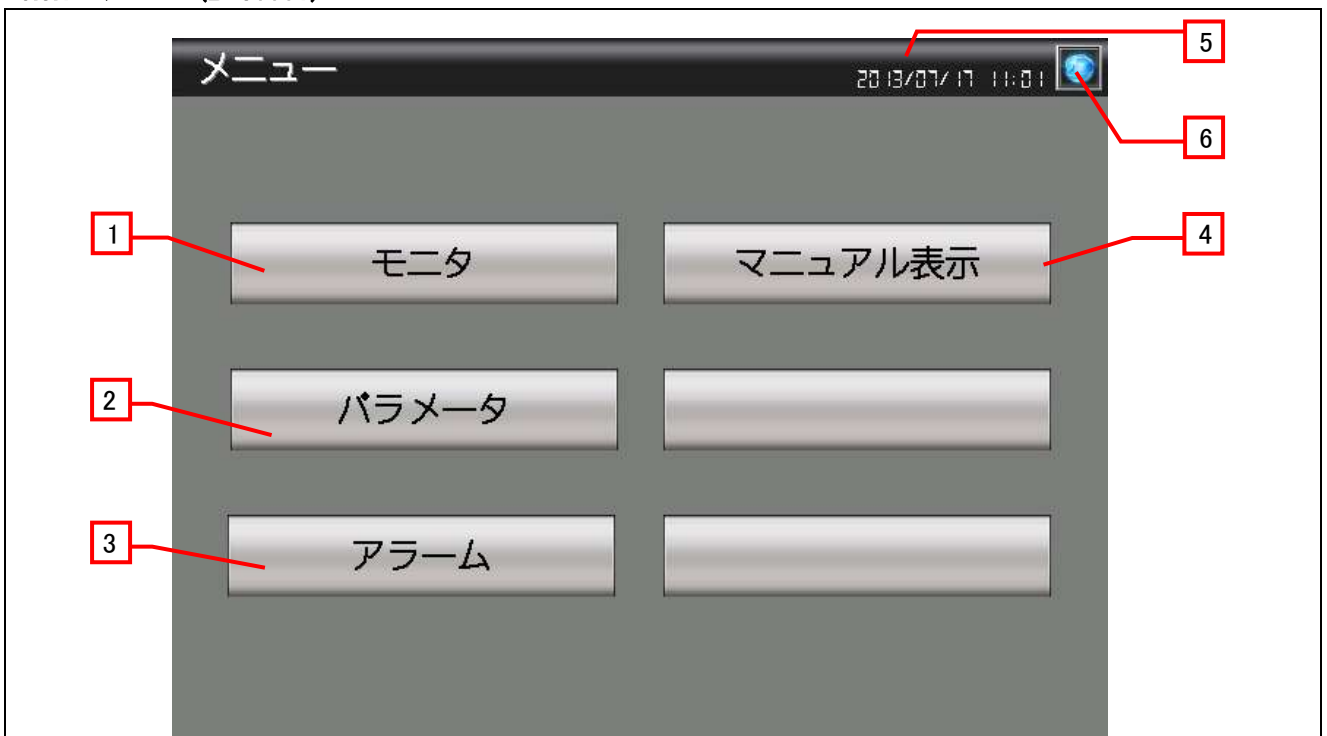
ベース画面 B-30004:アラーム

ベース画面 B-30001:メニュー

ベース画面 B-30500:
マニュアル表示-言語 1

ベース画面 B-30501:
マニュアル表示-言語 2

ベース画面 B-30502:
マニュアル表示-言語 3

## 5.3 画面説明

### 5.3.1 メニュー(B-30001)

**概要**

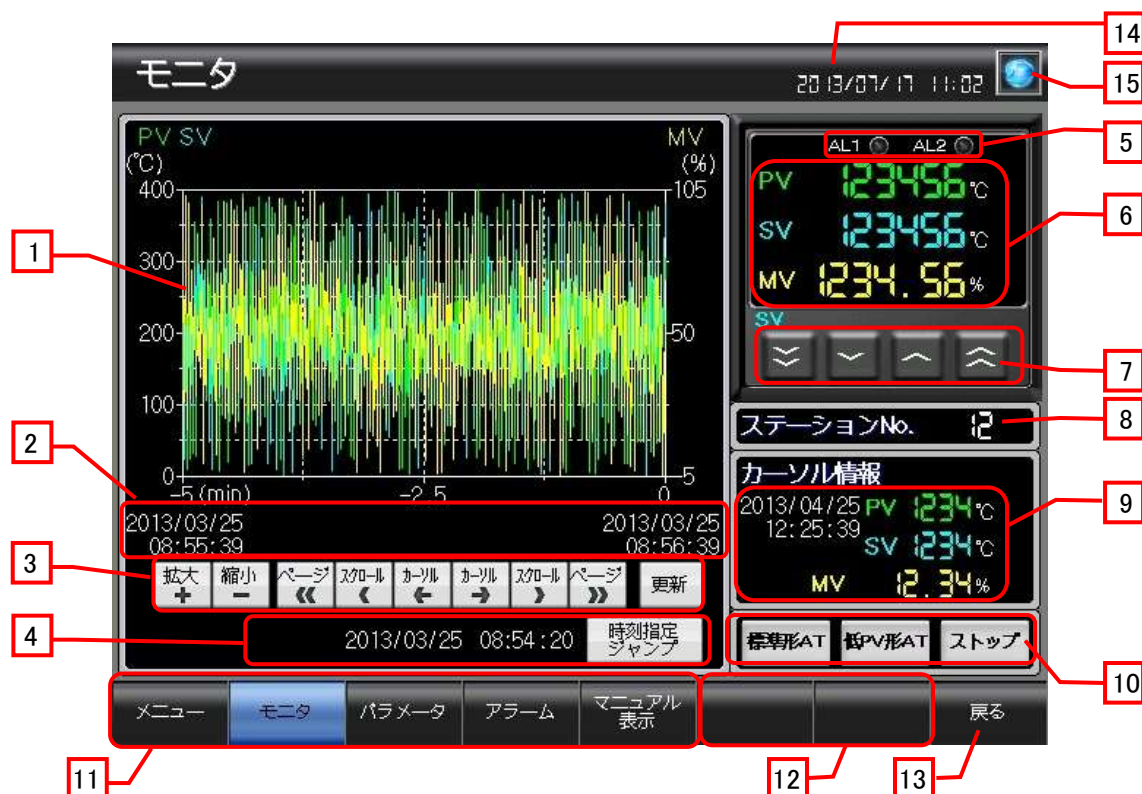
メニュー画面です。

**詳細**

1. モニタ画面に切り換えます。
2. パラメータ画面に切り換えます。
3. アラーム画面に切り換えます。
4. マニュアル表示画面に切り換えます。
5. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
6. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

・GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてステーション No.を「1」に指定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・マニュアル表示スイッチは、現在表示されている言語に対応したマニュアル表示画面に切り換えます。
・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

## 5.3.2 モニタ(B-30002)

### 概要

PV 値・SV 値・MV 値をグラフと数値で表示し、警報をランプで表示します。SV 値、ステーションNo.、オートチューニングの設定値を変更できます。

### 詳細

1. PV 値・SV 値・MV 値をヒストリカルトレンドグラフで表示します。PV 値は緑色、SV 値は水色、MV 値は黄色でグラフ線を表示します。グラフ上をタッチすると、カーソルを表示します。グラフ上をタッチした状態で左右にフリックすると表示内容が左右にスクロール表示します。また、水平方向にピンチアウト・ピンチインすると時間軸を基準にグラフを拡大・縮小表示します。
2. ヒストリカルトレンドグラフの表示開始位置時刻と表示終了位置時刻を表示します。
3. ヒストリカルトレンドグラフを操作します。

| | |
|---|---|
| 拡大 | :グラフの時間軸を新しいデータの軸を基準に、拡大(2 倍)表示します。 |
| 縮小 | :グラフの時間軸を新しいデータの軸を基準に、縮小(1/2 倍)表示します。 |
| ページ<< | :ページを左にスクロール表示します。 |
| スクロール< | :グラフを左にスクロール表示します。 |
| カーソル← | :カーソルを表示し、カーソルを古いデータの方向にスクロール表示します。 |
| カーソル→ | :カーソルを表示し、カーソルを新しいデータの方向にスクロール表示します。 |
| スクロール> | :グラフを右にスクロール表示します。 |
| ページ>> | :ページを右にスクロール表示します。 |
| 更新 | :カーソルを消去し、最新のデータを表示します。 |

4. 日時を入力し、時刻指定ジャンプスイッチをタッチすると指定した日時をグラフの中央に表示します。画面初回表示時には日時に現在日時を格納します。
5. 警報 1、警報 2 を表示します。警報が ON ディレイ中はランプが点滅します。
6. PV 値・SV 値・MV 値の現在値を表示します。
7. 左から順に、-10、-1、+1、+10℃ずつ SV 値を変更します。
8. ステーション No.を表示します。数値をタッチするとステーション No.を変更できます。
9. カーソル位置の日時・PV 値・SV 値・MV 値を表示します。
10. オートチューニングを実行/解除するスイッチです。
11. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。

12. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
13. 前回表示していた画面に切り換えます。
14. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
15. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

・ 複数台のマイクロコントローラＸをモニタする場合は、接続機器設定の自局アドレスで設定した局番のマイクロコントローラＸが必ず存在するようにしてください。このサンプルでは、「1」を設定しています。自局アドレス設定の詳細については、「GOT2000 シリーズ接続マニュアル(他社機器接続編 2)」を参照してください。
・ 時刻指定ジャンプスイッチにオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・ マニュアル表示スイッチは、現在表示されている言語に対応したマニュアル表示画面に切り換えます。
・ 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
・ システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 5.3.3　パラメータ(B-30003)

**概要**

マイクロコントローラ X のパラメータを設定します。

**詳細**

1.　パラメータのデータ名を表示します。
2.　パラメータ値を表示します。数値色が緑色のパラメータは設定値を変更可能です。
3.　パラメータの操作スイッチです。1秒後に OFF します。
4.　各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5.　未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6.　前回表示していた画面に切り換えます。
7.　現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8.　言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

・マニュアル表示スイッチは、現在表示されている言語に対応したマニュアル表示画面に切り換えます。
・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 5.3.4 アラーム(B-30004)

**概要**

マイクロコントローラ X の警報と入力・本体異常ステータスを表示します。

**詳細**

1. ユーザアラーム表示でアラームを表示します。タッチでカーソルを表示/非表示します。アラーム表示上をタッチした状態で上下にフリックするとアラームを上下にスクロール表示します。
2. アラームを操作します。
   - 削除　：選択された復旧済みアラームを削除します。
   - 全削除　：復旧済みアラームをすべて削除します。
   - 確認　：選択アラームの日時表示(確認)をします。
   - 全確認　：全アラームの日時表示(確認)をします。
   - ⏫ ⏬　：上下にページスクロールします。
   - ▲ ▼　：上下に 1 行ずつスクロールします。
3. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
4. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
5. 前回表示していた画面に切り換えます。
6. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
7. 言語設定ウィンドウを表示します。

**備考**

- マニュアル表示スイッチは、現在表示されている言語に対応したマニュアル表示画面に切り換えます。
- 画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
- システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 5.3.5 マニュアル表示−言語 1(B-30500)、言語 2(B-30501)、言語 3(B-30502)

## 概要

表示中の言語に対応したマニュアルを表示します。

## 詳細

1. マニュアル表示−言語 1(B-30500)〜言語 3(B-30502)は、それぞれドキュメント ID 201〜203 のドキュメントを表示します。画面初回表示時は 1 ページ目を表示します。ドキュメント上をタッチした状態で 8 方向にフリックするとドキュメントを 8 方向にスクロール表示します。ドキュメントの端が表示されている状態でフリックすると、ページを切り換えます。ピンチイン・ピンチアウトすると、大・中・小の 3 段階で、ドキュメントが切り換わります。
2. 表示しているドキュメントを操作します。
   - :表示しているドキュメントを拡大/縮小します。
   - :表示しているドキュメントを左右にスクロールします。
   - :表示しているドキュメントを上下にスクロールします。
3. 表示しているドキュメントのページを操作します。
   - :表示しているドキュメントのページ数を表示します。数値をタッチするとページ番号を変更できます。
   - :表示しているドキュメントをページ送り/ページ戻しします。
4. 各画面に切り換えます。青色のスイッチは、現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
5. 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
6. 前回表示していた画面に切り換えます。
7. 現在の日時を表示します。タッチすると、時計設定ウィンドウを表示します。
8. 言語設定ウィンドウを表示します。

備考

・マニュアルの言語は、マニュアル用に作成するドキュメントの言語となります。マニュアル以外のタイトルやスイッチ銘板の言語は、コメントグループ No.255 の列 No.1～3 に設定されているコメントの言語となります。ドキュメント(ドキュメント ID)とコメントグループ No.255 の列 No.の関係は下表となります。

| ベース画面 | ドキュメント ID | 列 No. |
| --- | --- | --- |
| マニュアル表示－言語 1(B-30500) | 201 | 1 |
| マニュアル表示－言語 2(B-30501) | 202 | 2 |
| マニュアル表示－言語 3(B-30502) | 203 | 3 |

・GOT 起動時に、プロジェクトスクリプトにてドキュメントページ No.に1を設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。
・マニュアル表示用のドキュメントデータは、お客様で作成してください。詳細については、「6.マニュアル表示について」を参照してください。
・画面切り換え時には、表示中のウィンドウ画面を閉じます。
・システムアラームが発生した場合、画面下にアラームメッセージを表示します。アラームメッセージをタッチすると、アラームリセットウィンドウが表示されます。

### 5.3.6　アラームリセット(W-30001)

**概要**

システムアラームをリセットします。

**詳細**

1. システムアラームをリセットし、1秒後にウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

### 5.3.7 言語設定(W-30002)

**概要**

GOT で表示する言語を選択します。

**詳細**

1. 言語を切り換え、ウィンドウ画面を閉じます。
2. ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

- 表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。
- マニュアル表示-言語 1～言語 3 のいずれかのベース画面を表示中に言語設定ウィンドウで言語を切り換えた場合、選択した言語に対応したマニュアル表示画面に切り換わるように画面スクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。

### 5.3.8　時計設定(W-30003)

**概要**

GOT の時計データを変更します。

**詳細**

1. 現在の日時を表示します。
2. 変更したい日時を▼▲スイッチで設定します。▼▲スイッチは、長押しすると連続で増減します。リセットスイッチは、秒をリセットします。
3. 設定した日時を GOT の時計データに反映し、1 秒後にウィンドウ画面を閉じます。
4. ウィンドウ画面を閉じます。

**備考**

・変更する日時の初期値は、ウィンドウ画面を表示した時の日時です。
・変更する日時の年・月・日・時・分・秒の数値表示にオブジェクトスクリプトを設定しています。スクリプトの詳細については、「5.6 スクリプト一覧」を参照してください。

## 5.4 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。

### 5.4.1 接続機器のデバイス

| タイプ | デバイス番号 | 用途 | コイル番号/<br>レジスタ番号 | ビット |
|---|---|---|---|---|
| ビット | 10001 | 警報 1 | 10001 | |
| | 10005 | 警報 2 | 10005 | |
| | 31008.b0 | 入力 Lower 断線 | 31008 | 0 |
| | 31008.b1 | 入力 Upper 断線 | 31008 | 1 |
| | 31008.b2 | 入力アンダーレンジ | 31008 | 2 |
| | 31008.b3 | 入力オーバーレンジ | 31008 | 3 |
| | 31008.b6 | 設定レンジ異常 | 31008 | 6 |
| | 31008.b7 | EEPROM 異常 | 31008 | 7 |
| | 41087.b5 | アラーム 1 ラッチ解除 | 41087 | 5 |
| | 41087.b6 | アラーム 2 ラッチ解除 | 41087 | 6 |
| ワード | 31001 | PV 値 | 31001 | |
| | 31002 | SV 値 | 31002 | |
| | 31004 | MV(出力 1) | 31004 | |
| | 31011 | タイマ 1 表示 | 31011 | |
| | 31012 | タイマ 2 表示 | 31012 | |
| | 41005 | オートチューニングコマンド | 41005 | |
| | 41006 | 比例帯 | 41006 | |
| | 41007 | 積分時間 | 41007 | |
| | 41008 | 微分時間 | 41008 | |
| | 41040 | キーロック | 41040 | |
| | 41041 | 警報 1 タイプ | 41041 | |
| | 41042 | 警報 2 タイプ | 41042 | |
| | 41044 | 警報 1 下限設定値 | 41044 | |
| | 41045 | 警報 2 下限設定値 | 41045 | |
| | 41047 | 警報 1 上限設定値 | 41047 | |
| | 41048 | 警報 2 上限設定値 | 41048 | |

### 5.4.2 GOT の内部デバイス

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|---|---|---|
| ビット | GB40 | スクリプトトリガ(常時 ON) |
| | GD60031.b13 | GOT エラーリセット信号 |
| | GS512.b0 | 時刻変更信号 |
| ワード | GD10 | ステーション No.の設定 |
| | GD60000 | ベース画面切り換え |
| | GD60001 | オーバーラップウィンドウ 1 画面切り換え |
| | GD60004 | オーバーラップウィンドウ 2 画面切り換え |
| | GD60021 | 言語切り換え |
| | GD60022 | システム言語切り換え |
| | GD60031、GD60041 | システム情報 |
| | GD60080～GD60082 | ドキュメント表示、ページ番号、前頁スイッチ、次頁スイッチ |
| | GD61201～GD61203 | ヒストリカルトレンドグラフ　グラフ情報 |
| | GD61221～GD61224 | ヒストリカルトレンドグラフ　カーソル位置時刻 |
| | GD61225～GD61228 | ヒストリカルトレンドグラフ　表示開始位置時刻 |

| タイプ | デバイス番号 | 用途 |
|---|---|---|
| ワード | GD61229～GD61232 | ヒストリカルトレンドグラフ 表示終了位置時刻 |
| | GD61233～GD61235 | ヒストリカルトレンドグラフ 表示位置時刻指定 |
| | GD63990～GD63995 | 時計のデジスイッチ |
| | GS513～GS516 | 変更時刻 |
| | GS650～GS652 | 現在時刻 |
| | TMP950～TMP996 | スクリプト演算用 |

## 5.5 コメント一覧

| コメントグループ No. | コメント No. | 使用箇所 |
|---|---|---|
| 254 | No.1～8 | B-30004(ユーザアラーム監視 ID 30001) |
| 255 | No.1～4 | B-30001～30502 |
| | No.4 | W-30001 |
| | No.5、6 | B-30002～30502 |
| | No.7 | B-30001、B-30500～30502 |
| | No.21～44 | B-30002 |
| | No.61～77 | B-30003 |
| | No.111～117 | B-30004 |
| | No.131～136 | B-30002～30003 |
| | No.151 | W-30001 |
| | No.152 | W-30002 |
| | No.153～160 | W-30003 |

## 5.6 スクリプト一覧

| 項　目 | 設　定 |
|---|---|
| プロジェクトスクリプト | 有り |
| 画面スクリプト | 有り:W-30002 |
| オブジェクトスクリプト | 有り:B-30002、W-30003 |

### 5.6.1 プロジェクトスクリプト

| スクリプト No. | 30001 | スクリプト名 | Script30001 |
|---|---|---|---|
| コメント | 初期設定 | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |

```
[w:GD10]=1;         //ステーション No.を1に指定
[w:GD60080]=1;      //ベース画面 30500 のドキュメントページ№を 1 に設定
[w:GD60081]=1;      //ベース画面 30501 のドキュメントページ№を 1 に設定
[w:GD60082]=1;      //ベース画面 30502 のドキュメントページ№を 1 に設定
```

### 5.6.2 画面スクリプト

#### ウィンドウ画面 30002

| スクリプト No. | 30002 | スクリプト名 | Script30002 |
|---|---|---|---|
| コメント | マニュアル表示画面の言語切り換え | | |
| データ形式 | 符号付き BIN16 | トリガ種別 | 画面を閉じる時 |

```
if(([w:GD60000] >= 30500) && ([w:GD60000] <=30502)){  //ベース画面切り換えデバイス値が 30500～30502 の場合
    if([w:GD60021] <= 1){              //言語が言語 1 の場合
        [w:GD60000] = 30500;           //マニュアル表示−言語 1 画面に遷移
    }
    if([w:GD60021] == 2){              //言語が言語 2 の場合
        [w:GD60000] = 30501;           //マニュアル表示−言語 2 画面に遷移
    }
    if([w:GD60021] == 3){              //言語が言語 3 の場合
        [w:GD60000] = 30502;           //マニュアル表示−言語 3 画面に遷移
    }
}
```

### 5.6.3 オブジェクトスクリプト

#### ベース画面 30002

| オブジェクト(名称) | スイッチ(ジャンプ) | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 1 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |

```
//画面表示時に年月日時分秒を格納
[w:GD61233]=[w:GS650];
[w:GD61234]=[w:GS651];
[w:GD61235]=[w:GS652];
```

#### ウィンドウ画面 30003

| オブジェクト(名称) | 数値表示(変更_年) | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 1 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 立上り GB40 |

```
//時計データより本日の年月を取得
[w:TMP950] = [w:GS650] & 0xF000;//設定用時計データより年の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP960] = [w:TMP950] >> 12;//桁合せ
[w:TMP968] = [w:TMP960] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP951] = [w:GS650] & 0x0F00;//設定用時計データより年の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP961] = [w:TMP951] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP973] = 2000 + [w:TMP968] +  [w:TMP961];//TMP973 に年を BIN でセット
[w:GD63990] = [w:TMP973];//年をセット

[w:TMP952] = [w:GS650] & 0x00F0;//設定用時計データより月の 10 の位を取得
[w:TMP962] = [w:TMP952] >> 4;//桁合せ
[w:TMP969] = [w:TMP962] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP953] = [w:GS650] & 0x000F;//設定用時計データより月の 1 の位を取得
[w:TMP974] = [w:TMP969] +  [w:TMP953];//TMP974 に月を BIN でセット
[w:GD63991] = [w:TMP974];//月をセット

[w:TMP954] = [w:GS651] & 0xF000;//設定用時計データより日の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP963] = [w:TMP954] >> 12;//桁合せ
```

```
[w:TMP970] = [w:TMP963] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP955] = [w:GS651] & 0x0F00;//設定用時計データより日の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP964] = [w:TMP955] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP975] =[w:TMP970] +  [w:TMP964];//TMP975 に日を BIN でセット
[w:GD63992] = [w:TMP975];//日をセット

[w:TMP956] = [w:GS651] & 0x00F0;//設定用時計データより時の 10 の位を取得
[w:TMP965] = [w:TMP956] >> 4;//桁合せ
[w:TMP971] = [w:TMP965] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP957] = [w:GS651] & 0x000F;//設定用時計データより時の 1 の位を取得
[w:TMP976] = [w:TMP971] +  [w:TMP957];//TMP976 に時を BIN でセット
[w:GD63993] = [w:TMP976];//時をセット

[w:TMP958] = [w:GS652] & 0xF000;//設定用時計データより分の下 2 桁の 10 の位を取得
[w:TMP966] = [w:TMP958] >> 12;//桁合せ
[w:TMP972] = [w:TMP966] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP959] = [w:GS652] & 0x0F00;//設定用時計データより分の下 2 桁の 1 の位を取得
[w:TMP967] = [w:TMP959] >> 8;//BCD->BIN
[w:TMP977] =[w:TMP972] +  [w:TMP967];//TMP977 に分を BIN でセット
[w:GD63994] = [w:TMP977];//分をセット

[w:TMP993] = [w:GS652] & 0x00F0;//設定用時計データより秒の 10 の位を取得
[w:TMP995] = [w:TMP993] >> 4;//桁合せ
[w:TMP996] = [w:TMP995] * 10;//BCD->BIN
[w:TMP994] = [w:GS652] & 0x000F;//設定用時計データより秒の 1 の位を取得
[w:TMP978] = [w:TMP996] +  [w:TMP994];//TMP978 に秒を BIN でセット
[w:GD63995] = [w:TMP978];//秒をセット
```

| オブジェクト(名称) | 数値表示(変更_月) | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 2 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
// BIN -> BCD 変換

[w:TMP979] = [w:GD63990] - 2000;  // 年の下 2 桁

[w:TMP980] = (([w:TMP979] / 10) << 4) + ([w:TMP979] % 10);  // 年 BIN -> BCD
[w:TMP981] = (([w:GD63991] / 10) << 4) + ([w:GD63991] % 10);   // 月 BIN -> BCD
[w:TMP982] = (([w:GD63992] / 10) << 4) + ([w:GD63992] % 10);   // 日 BIN -> BCD
[w:TMP983] = (([w:GD63993] / 10) << 4) + ([w:GD63993] % 10);   // 時 BIN -> BCD
[w:TMP984] = (([w:GD63994] / 10) << 4) + ([w:GD63994] % 10);   // 分 BIN -> BCD
[w:TMP985] = (([w:GD63995] / 10) << 4) + ([w:GD63995] % 10);   // 秒 BIN -> BCD
```

| オブジェクト(名称) | 数値表示(変更_日) | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 3 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
// 年月設定

[w:GS513] = ([w:TMP980] << 8) + [w:TMP981];  // 変更時刻デバイスに年月セット
```

| オブジェクト(名称) | 数値表示(変更_時) | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 4 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
// 日時設定
[w:GS514] = ([w:TMP982] << 8) + [w:TMP983];  // 変更時刻デバイスに日時セット
```

| オブジェクト(名称) | 数値表示(変更_分) | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 5 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

```
// 分秒設定

[w:GS515] = ([w:TMP984] << 8) + [w:TMP985]; // 変更時刻デバイスに分秒セット
```

| オブジェクト(名称) | 数値表示(変更_秒) | | |
|---|---|---|---|
| スクリプトユーザ ID | 6 | | |
| データ形式 | 符号なし BIN16 | トリガ種別 | 常時 |

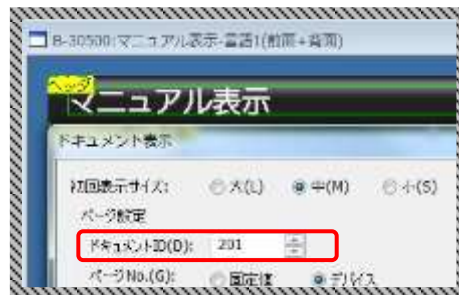
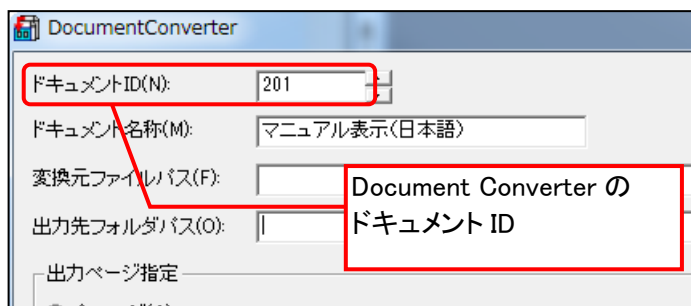
```
// 曜日設定

[w:TMP986] = [w:GD63990];  //年(BIN)
[w:TMP987] = [w:GD63991];  //月(BIN)
[w:TMP988] = [w:GD63992];  //日(BIN)

if(([w:TMP987] == 1) || ([w:TMP987] == 2)){//1・2 月の場合のみ前年の 13・14 月として計算するための補正処理
    [w:TMP986] =[w:TMP986] - 1; //年から 1 を減算
    [w:TMP987] =[w:TMP987] + 12;//月に 12 を加算
}

[w:TMP989] = [w:TMP986]/4;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP990] = [w:TMP986]/100;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP991] = [w:TMP986]/400;//ツェラーの公式に必要な項を作成
[w:TMP992] = (13*[w:TMP987]+8)/5;//ツェラーの公式に必要な項を作成

//ツェラーの公式で曜日算出して変更時刻デバイスに曜日をセット
[w:GS516] = ([w:TMP986]+[w:TMP989]-[w:TMP990]+[w:TMP991]+[w:TMP992]+[w:TMP988])%7;
```

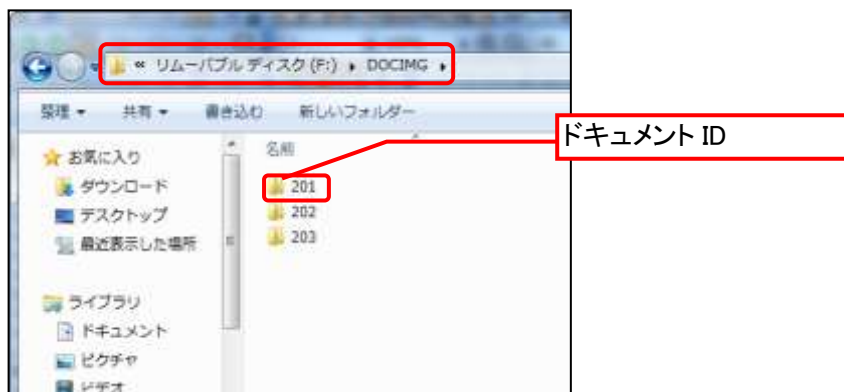
## 6. マニュアル表示について

マニュアル表示は、ドキュメント表示機能を使用して表示しています。ドキュメント表示機能の詳細については、「GT Designer3（GOT2000）ヘルプ」を参照してください。なお、ドキュメント表示機能は、言語切り換えに非対応のため、サンプル画面では、言語切り換え時に選択した言語のドキュメント(ドキュメント ID)を設定したベース画面を切り換え表示することで言語切り換えを実現しています。

### 6.1 マニュアル表示用ドキュメントデータの準備

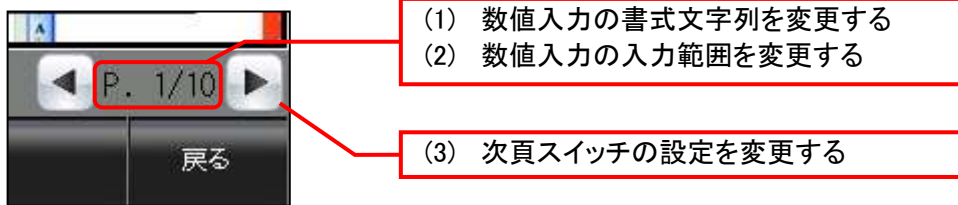
例：ベース画面 B-30500：マニュアル表示-言語 1 にマニュアル(ドキュメント)を表示する場合

(1) 表示するマニュアル(Word や Excel など)を Document Converter を使用してドキュメント表示機能用のドキュメントデータ(JPEG ファイル)に変換します。この際、Document Converter の[ドキュメント ID]には、ベース画面 B-30500 のドキュメント表示の[ドキュメント ID]と同じ値を設定します。

例：ベース画面 B-30500：マニュアル表示-言語 1 のドキュメント表示のドキュメント ID

(2) ドキュメントデータは DOCIMG フォルダの 201 フォルダ内に生成されます。DOCIMG フォルダ以下のフォルダ構成は変更せずに、DOCIMG フォルダごと SD カードのルートディレクトリに保存してください。

SD カードのフォルダ構成

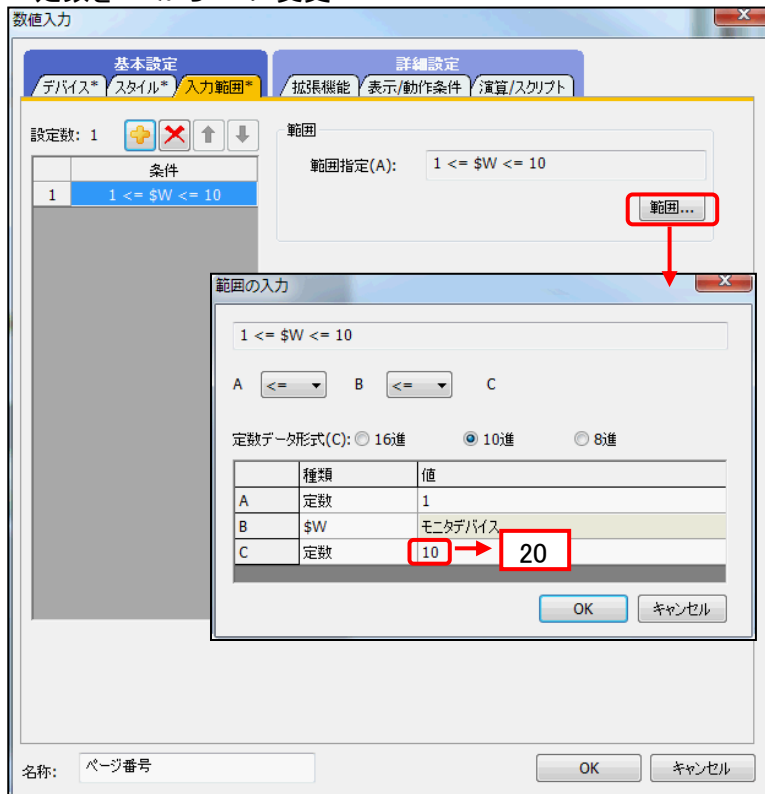
## 6.2 ドキュメントの総ページ数の変更

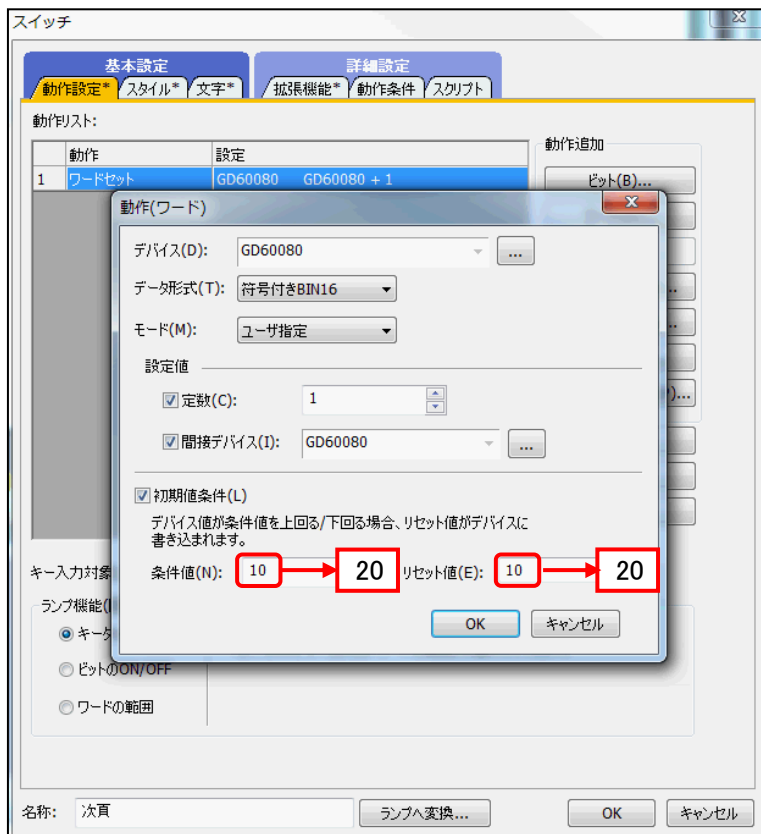
表示するドキュメントの総ページ数に合わせて、画面右下に表示する総ページ数を変更してください。

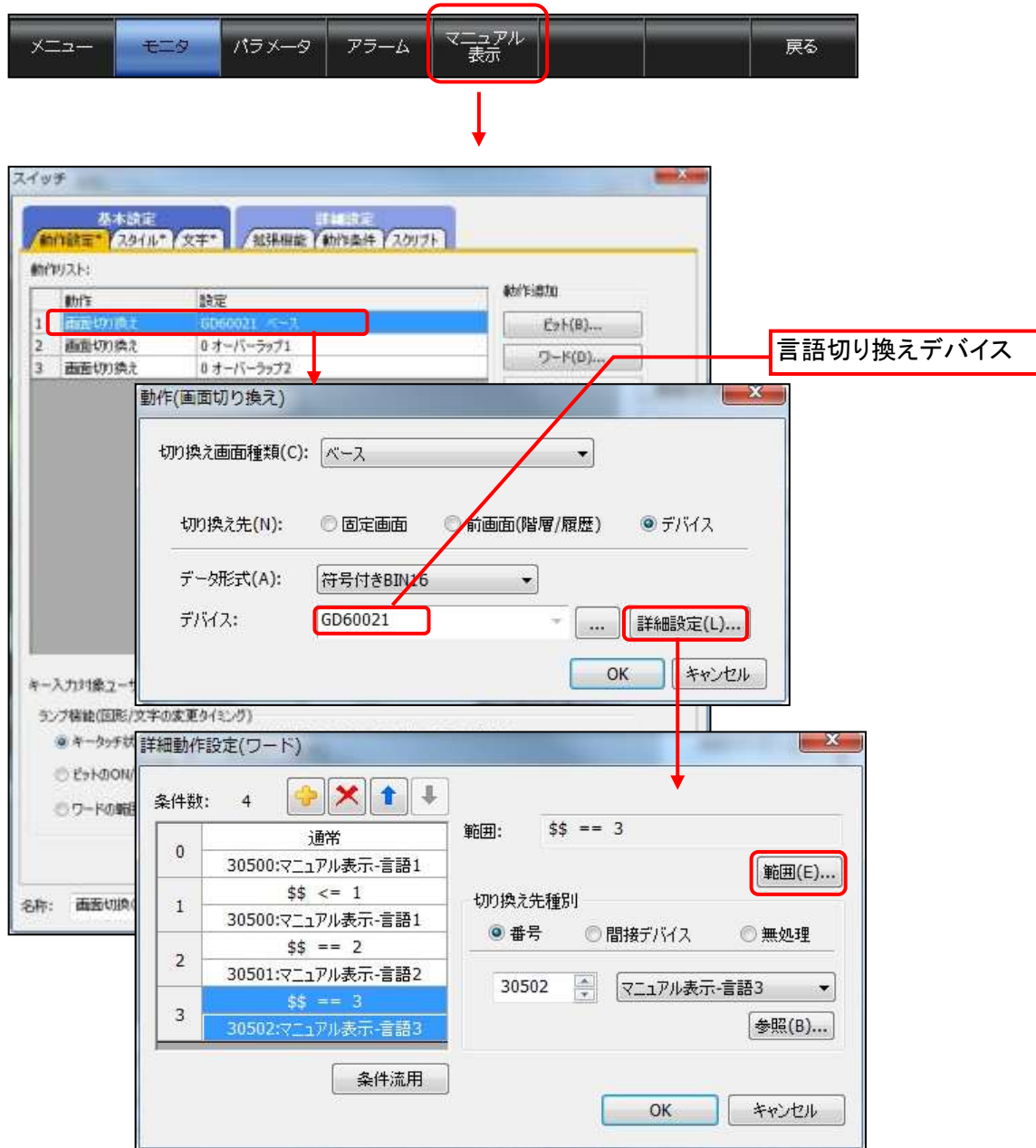
例:ドキュメント総数を 10 ページから 20 ページに変更する場合

(1) 数値入力の書式を変更する。

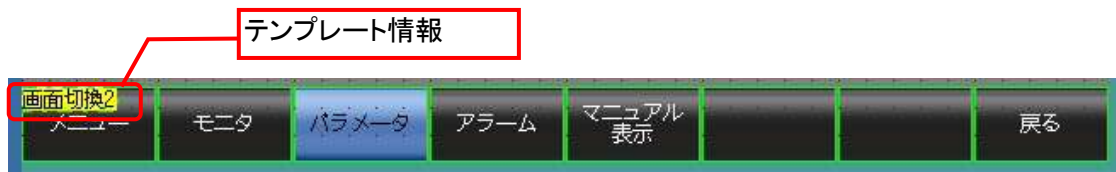
1. 数値入力をダブルクリックし、ダイアログボックスの[デバイス]タブを表示
2. [書式文字列]を「P.##/10」から「P.##/20」に変更

(2) 数値入力の入力範囲を変更する。

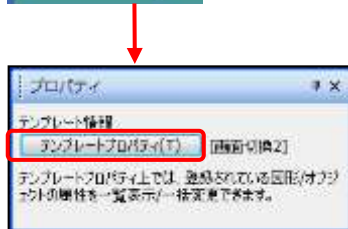
1. ダイアログボックスの[入力範囲]タブを表示
2. [範囲]をクリックし、[範囲の入力]ダイアログボックスを表示
3. 定数を 10 から 20 に変更

(3) 次頁スイッチの設定を変更する

1. ダイアログボックスの[動作設定]タブを表示
2. [動作 1]をダブルクリックし、[動作(ワード)]ダイアログボックスを表示
3. [条件値]、[リセット値]を 10 から 20 に変更

## 6.3 「マニュアル表示」スイッチの設定

「マニュアル表示」スイッチは、言語切り換えデバイスに格納された列 No.によって表示するマニュアル画面を指定しています。列 No.の詳細については、「5.1 表示言語」を参照してください。

## 7. テンプレート

テンプレートとは、図形やオブジェクトの集合体です。関連のある設定をテンプレート属性としてまとめて登録しているためデバイスや色などを簡単に一括変更できます。属性の設定値を変更する詳細については、「GT Designer3（GOT2000）ヘルプ」を参照してください。

テンプレート情報は作画ソフトウェアの編集画面上にのみ表示され、GOT の表示画面上には表示されません。

例：フォントを変更する場合

（1） [テンプレート情報]を選択し[テンプレートプロパティ]をクリック(または[テンプレート情報]ダブルクリック）

テンプレートに登録されている図形やオブジェクトが選択状態になります。

（2） [フォント]の設定値をクリックして、変更したいフォントを選択